

編集室

ことしも約7000人(大学院含む)の卒業生が社会へのスタート台に立ちました。

「卒業」は人生の通過点、と言いますが、さりとてやはり大きな節目です。大学生生活は長くもあれば、短くもあり、その受け止め方は人さまざまでしょう。ただ、誰しもが掛け替えのない「財産」を積み上げたに違いありません。

「群像―それぞれの春」で取材した18人の卒業生にも、さまざまなキャンパス・ライフのスタイルがあります。一直線に「夢」に向かって学び励

学生記者が取材・編集する大学広報誌

Hakumon

Chuo
ちゅうおう

2008

早春号

2008年(平成20年)3月24日発行 No.205

発行 中央大学広報委員会

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

『Hakumonちゅうおう』編集室

☎042-674-2146

印刷 泰成印刷株式会社

〒130-0026

東京都墨田区両国3-1-12

☎03-3631-8141

んだ人、スポーツに全身全霊を打ち込んだ人、ゼミ活動や海外留学でいっぱいに見聞を広げた人、ちよっぴり悔いを残した分を反面教師にして社会への決意を新たにした人……。いずれもなんと頼もしく映ったものでした。スタイルは違っても共通しているのは、臆せずに「挑戦」する気概の持ち主だということです。卒業生の一人、蓮池薫さんは30年の歳月をかけてのご卒業です。感慨もいかばかりと思います。寄せていただいた『卒業にあたって』で、ご両親に「いち早く卒業証書を見せてあげたい」と書かれています。「感謝」もまた人生の糧であることを改めてかみしめた次第です。

(入学企画課 伊藤博)